生田緑地におけるシナチクノメイガ Eumorphobotys eumorphalis (Caradja, 1925) の記録

横田光邦*

A record of Eumorphobotys eumorphalis (Caradja, 1925) in Ikuta Ryokuchi Park, Kawasaki City.

Mitsukuni Yokota*

はじめに

シナチクノメイガ Eumorphobotys eumorphalis (Caradja, 1925) は中国南部に分布し、外来種として 2020年に愛知県より記録された(岩下ほか, 2021)。 Web 情報によると、既に 2017年8月に愛知県豊川市本宮山頂(750m)で記録されている(三河屋, 2022)。その後、2021年には近隣の県に広がり(間野, 2022)、2022年は神奈川県内や関東南部で記録が出ている。最初の確認から5年が経過し、猛烈な勢いで分布を広げている。これは、幼虫の食餌植物がタケ類である(岩下ほか, 2021)ことから、容易に分布を拡大できたと考える。

採集記録

[多摩区]1♀, 多摩区枡形, 18-VIII-2022, 横 田光邦採集

筆者は、2022 年 8 月 18 日に生田緑地内で蛾類の幼虫探索を行うために訪れ、西口トイレに寄ったところ、見慣れないツトガ科成虫がトイレ内の蛍光灯近くにとまっているところを見つけ採集した(図 1)。前年の2021 年に発行された本種に関する報告(岩下ほか,2021)を思い出し調べたところ、同種であることが判明した。



図 1. シナチクノメイガ Eumorphobotys eumorphalis (Caradja, 1925) ♀

おわりに

タケ類を介した外来種の侵入が近年相次

いでおり、生田緑地でも増加しているムネアカハラビロカマキリ Hierodula sp.(髙中ほか、2022)、埼玉県をはじめ各地で確認されているタケオオツクツク Platylomia pieli Kato、1938(愛知県環境調査センター、2021)、愛知県からはタイワンタケクマバチ Xylocopa tranquebarorum (Swederus、1787)(愛知県環境調査センター、2021)などが知られている。これらの種は中国原産で、輸入された竹箒などに卵がついていた可能性が指摘されている(髙中ほか、2022)。シナチクノメイガも同様のルートで侵入したと考えられ、今後も竹製品の輸入により外来種が侵入する懸念がある。

尚、筆者は2022年9月4日に静岡県富士市大淵(標高1450m付近)にてライトトラップを行ったところ、多数のシナチクノメイガが飛来した。また、翌9月5日に静岡県富士宮市猪之頭の田貫湖湖畔で幼虫を探索していたところ、笹薮から多くの本種成虫が飛び出てきた。静岡県内ではすでに広範囲に増えているようである。Web情報を検索してみると、2022年になり神奈川県をはじめ、東京都や千葉県でも記録が広がっていることがわかる(Biome アプリ,https://biome.co.jp/)。今のところ農業被害などは報告されていないようであるが、注視していく必要がある種である。

謝较

川崎市青少年科学館の髙中健一郎氏には、 本稿作成に当たってご助言頂いた。ここに 感謝の意を表す。

引用文献

岩下幸平・松井悠樹, 2021. 中国南部からの外来種と考えられるノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925)の日本からの初記録. 蛾類通信, (300): 683-684

間野隆裕, 2022. シナチクノメイガの愛知 県と岐阜県の記録. 誘蛾燈, (247): 43

^{*}特定非営利活動法人 かわさき自然調査団 Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

- 髙中健一郎・本郷智子・髙橋 裕・津田由美子, 2022. 生田緑地における外来種ムネアカハラビロカマキリ Hierodula sp.の生息状況について. 川崎市青少年科学館紀要(32):3-8.
- 愛知県環境調査センター(編), 2021. 愛知 県の外来種ブルーデータブックあいち 2021. p.81-93. 愛知県環境局環境政策部

自然環境課, 愛知県.

インターネット情報

三河屋, online. ツトガ科 黄色のノメイガ 2. 愛知県豊川市と東三河の蛾類観察. 2022. https://64645656.jimdofree.com/ (accessed on 2022-December-23).